



# 2025年8月期 第3四半期 連結決算説明資料

*ktk* ケイティケイ 株式会社  
代表取締役社長 青山 英生

東証スタンダード/名証メイン 証券コード:3035

# 目次

1

2025年8月期 第3四半期決算概況

02

2

参考資料

12

# 1 2025年8月期 第3四半期決算概況

---

- サプライ事業における仕入商品の拡販及びITソリューション事業で好調が続くPC販売や大型案件が貢献し、前年同期比で売上高、営業利益は**増加**
- 受取配当金の減少、支払利息の増加等の影響で、経常利益は**ほぼ横ばい**
- 政策保有株式売却益の減少で、親会社株主に帰属する四半期純利益は**減少**

	2024年8月期 第3四半期	2025年8月期 第3四半期	前年同期比
売上高	13,396百万円	14,087百万円	105.2%
営業利益	310百万円	323百万円	104.0%
経常利益	391百万円	390百万円	99.9%
EBITDA ※	490百万円	508百万円	103.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	281百万円	265百万円	94.3%

※ EBITDA = 当期純利益 + 法人税等 + 特別損益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費

# 2025年8月期 第3四半期決算概況

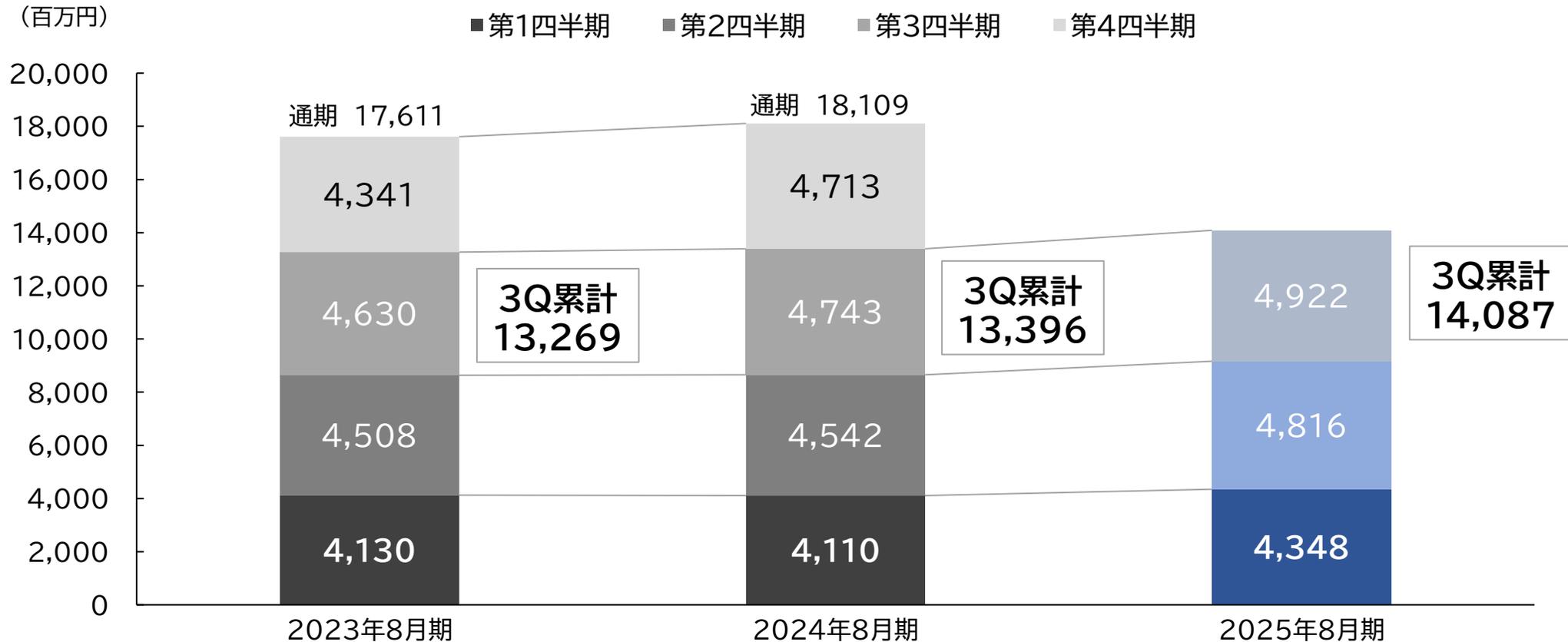
(百万円)

	2024年8月期		2025年8月期			
	第3四半期	通期	第3四半期	前期比	通期予想	進捗率
売上高	13,396	18,109	14,087	105.2%	18,600	75.7%
売上総利益	3,138	4,237	3,272	104.3%	—	— %
営業利益	310	383	323	104.0%	400	80.8%
経常利益	391	488	390	99.9%	490	79.8%
EBITDA ※	490	626	508	103.6%	641	79.3%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	281	345	265	94.3%	320	83.0%
1株当たり 四半期(当期)純利益	円 銭 51.82	円 銭 63.50	円 銭 48.72		円 銭 58.67	

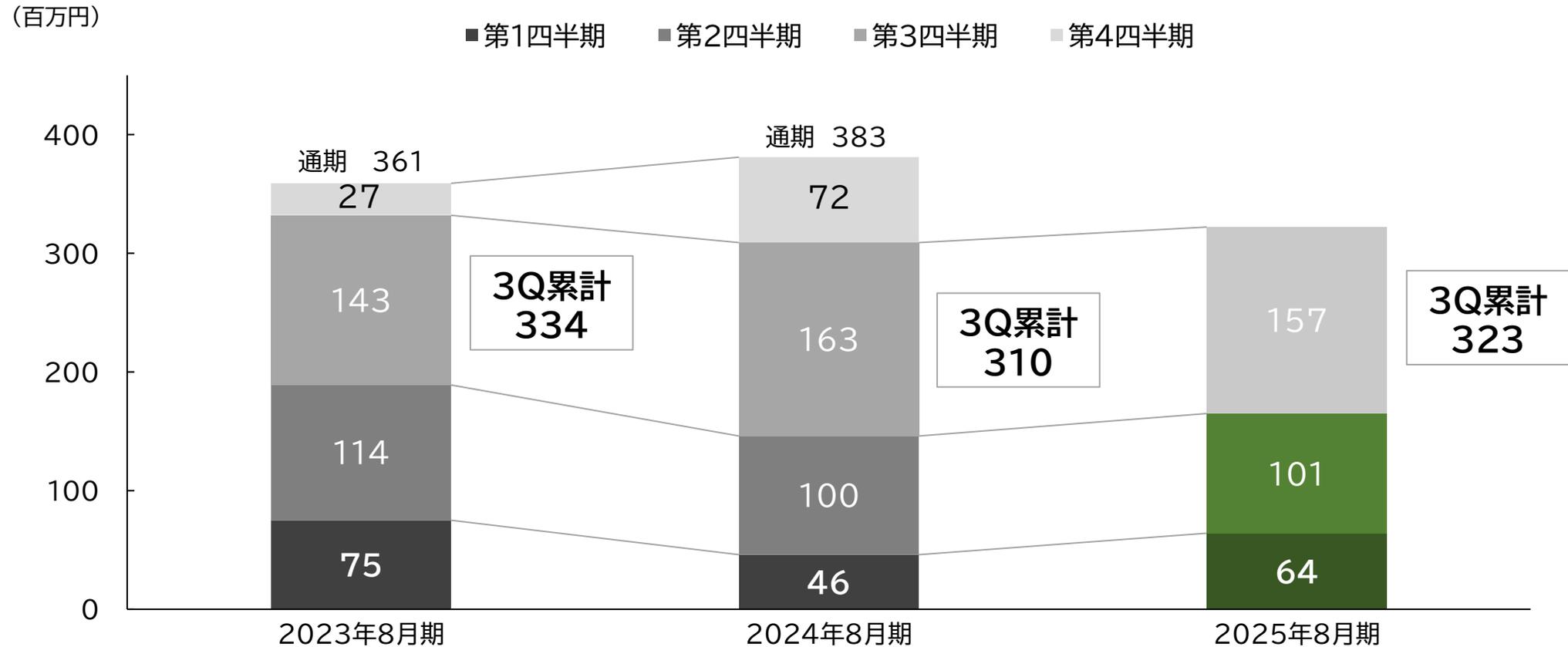
※ EBITDA = 当期純利益 + 法人税等 + 特別損益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費

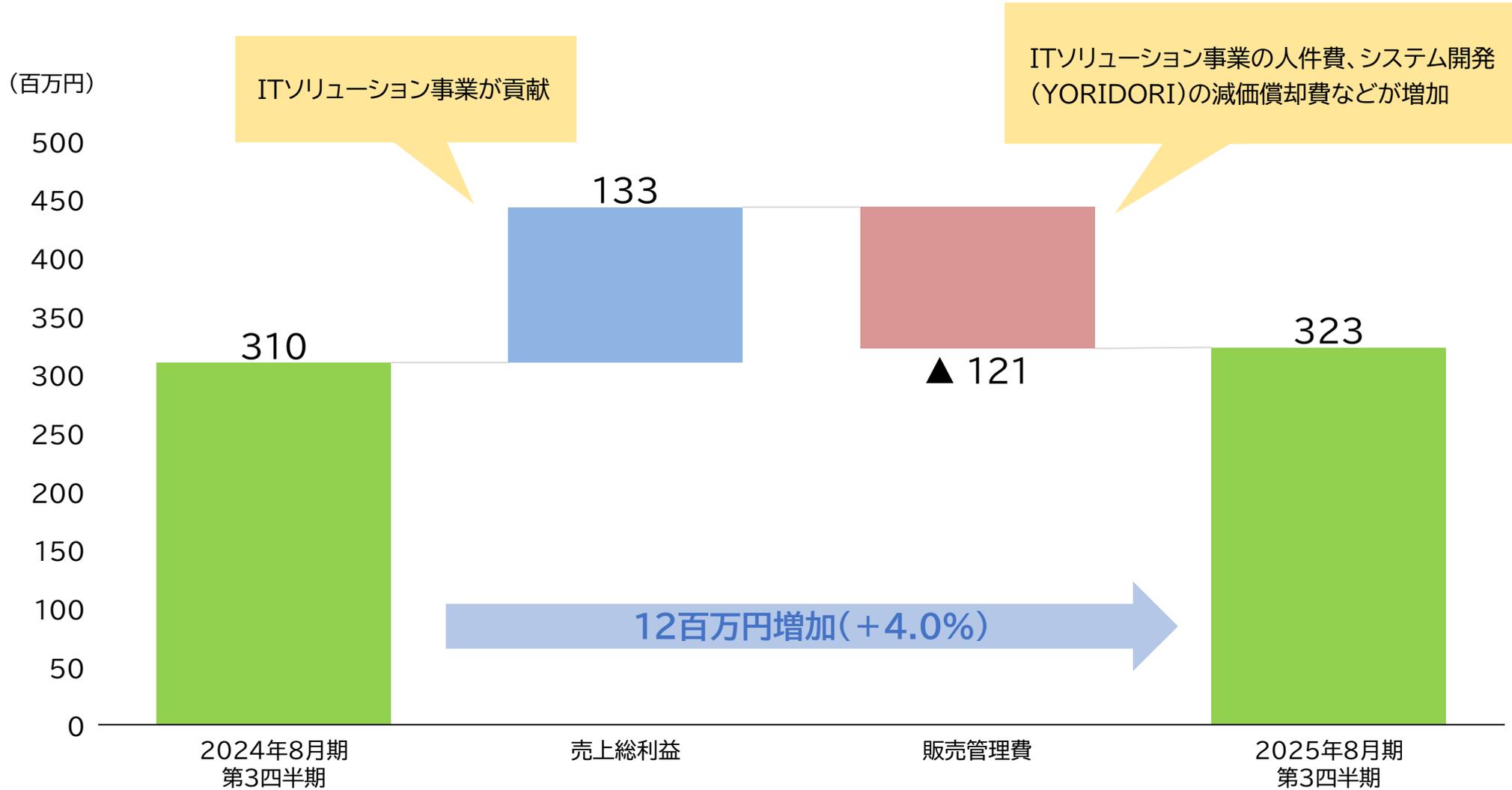
# 四半期毎の売上高の推移

- サプライ・ITソリューション事業ともに、**売上が伸長**
- ITソリューション事業においては、**PC販売や大型案件が好調**に推移



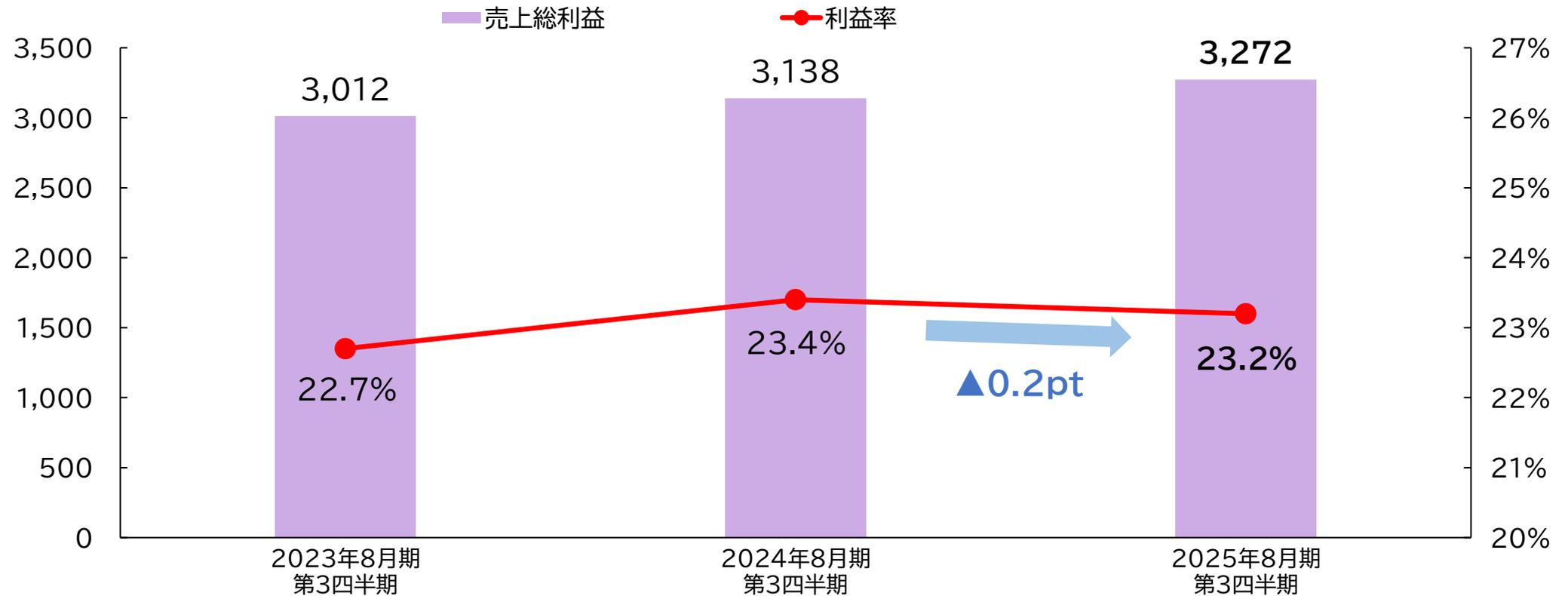
- ITソリューション事業が貢献し、前年同期比で**増益**





- 成長事業であるITソリューション事業が伸長し、売上総利益は**増加**
- ただし、サプライ事業における利益率の低下が影響し、全体の利益率は若干低下

(百万円)

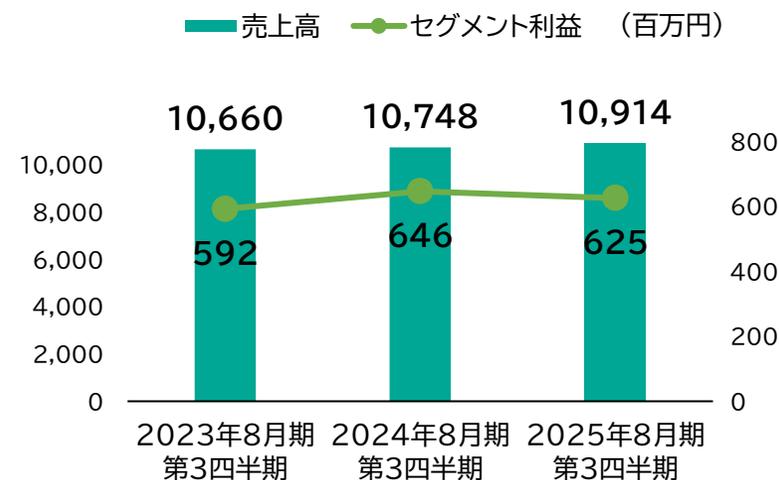


# セグメント別実績(サプライ事業)

(百万円)

	2023年8月期 第3四半期	2024年8月期 第3四半期	2025年8月期 第3四半期	前年同期比
売上高	10,660	10,748	10,914	101.5%
セグメント利益	592	646	625	96.7%

※ セグメントに帰属しない全社費用(主に一般管理費)は、セグメントに配賦していません



## サプライ事業の概況

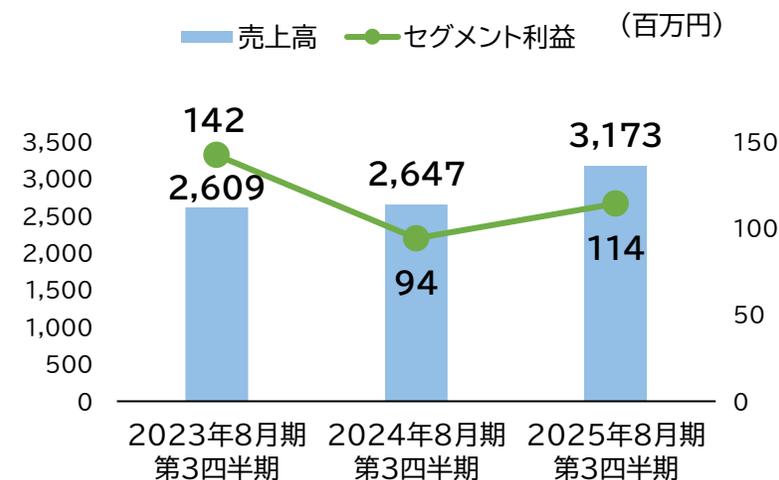
- ・ **仕入商品の拡販**が堅調に推移し、売上高は増加
- ・ 一方で、利益率の高い自社製品の構成比率が低下し、セグメント利益は減少
- ・ セグメント利益の減少には、自社ECサイトYORIDORIへのシステム投資に係る減価償却費増も影響

# セグメント別実績(ITソリューション事業)

(百万円)

	2023年8月期 第3四半期	2024年8月期 第3四半期	2025年8月期 第3四半期	前年同期比
売上高	2,609	2,647	3,173	119.8%
セグメント利益	142	94	114	121.8%

※ セグメントに帰属しない全社費用(主に一般管理費)は、セグメントに配賦していません



## ITソリューション事業の概況

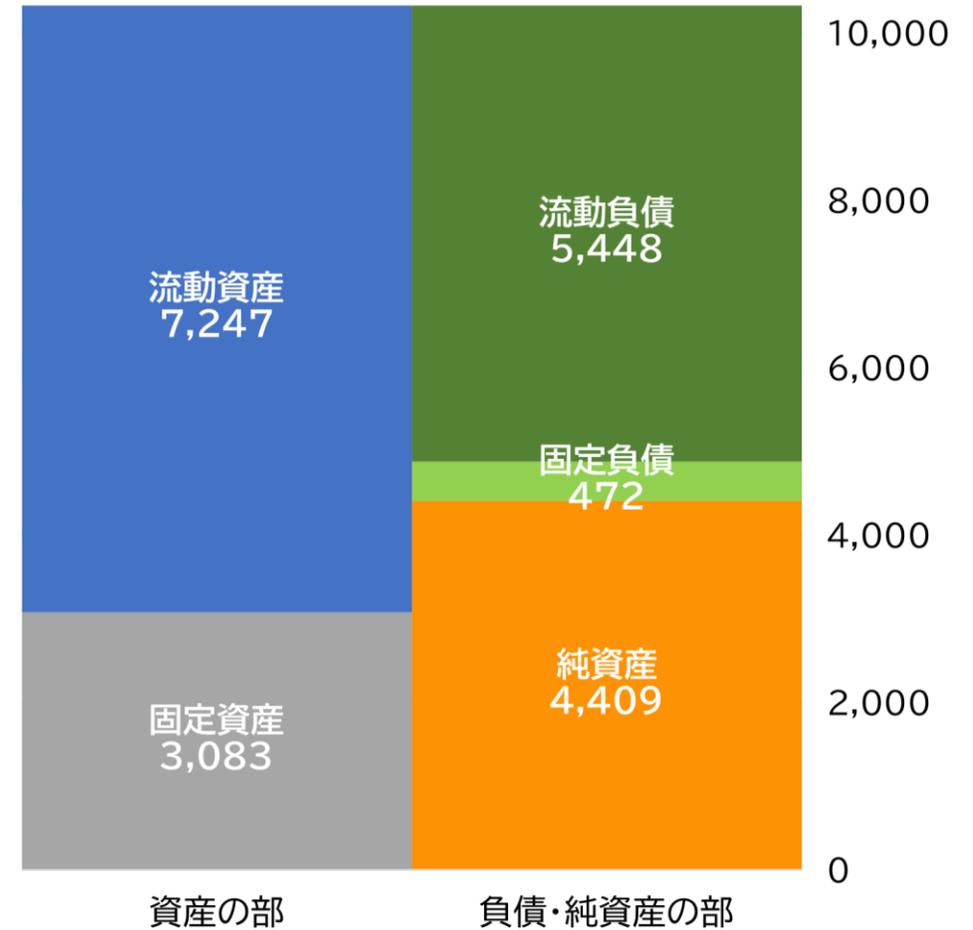
- ・ 複合機を起点としたビジネス展開、特にPC販売や大型案件が好調で、増収増益
- ・ 2024年3月にグループ入りした東海桜井の業績も順調に推移、東海桜井のスキニングサービスをグループ全体で拡販中

# 貸借対照表

(百万円)

	2024年8月期	2025年8月期 第3四半期	増減額
<b>流動資産</b>	<b>5,752</b>	<b>7,247</b>	<b>1,494</b>
現金及び預金	2,262	2,935	673
受取手形及び売掛金	2,585	3,318	733
商品・その他の資産	905	992	87
<b>固定資産</b>	<b>3,113</b>	<b>3,083</b>	<b>▲30</b>
有形固定資産	1,594	1,561	▲33
無形固定資産	345	323	▲22
投資その他の資産	1,173	1,198	25
<b>資産合計</b>	<b>8,866</b>	<b>10,330</b>	<b>1,463</b>
<b>負債合計</b>	<b>4,656</b>	<b>5,920</b>	<b>1,264</b>
流動負債	4,168	5,448	1,280
固定負債	487	472	▲15
<b>純資産合計</b>	<b>4,210</b>	<b>4,409</b>	<b>199</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>8,866</b>	<b>10,330</b>	<b>1,463</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>47.5%</b>	<b>42.7%</b>	<b>▲4.8pt</b>

(百万円)



※ 年度末である3月に売が増加する傾向があるため、当第3四半期では売掛金や買掛金などの資産・負債が増加し、2024年8月期に比べ自己資本比率は低下

## 2

# 參考資料

---

カーボンニュートラル推進の連携3社合同セミナー

## 中小企業のサステナビリティ経営、初めの一步は【印刷】から ——業界3社のトップが語る、脱炭素を実現するリユーストナーの可能性

2025年6月6日にAichi Sky Expo(愛知県国際展示場)で行われたAXIA EXPO 2025にて、株式会社ディエスジャパン主催セミナーに当社も登壇いたしました

カーボンニュートラルの推進等に関する連携協定を締結した原貿易株式会社とともに、リユーストナーや脱炭素の見える化についてトークセッションを開催しました

### <パネリスト>

- ケイティケイ株式会社 代表取締役 青山英生 (写真左)
- 株式会社ディエスジャパン 代表取締役 北條陽子氏 (写真中央)
- 原貿易株式会社 代表取締役 江守雅人氏 (写真右)



## 当社の「サステナブルパートナープログラム」が日刊工業新聞で紹介されました

**成長につなぐ** — 事例17ゴールズ&169ターゲット

**ケイティケイ**

独自の顧客参加型システム「サステナブルパートナープログラム」のサイクル

使用済みカートリッジの利用を見える化し、顧客の再利用率(リユース)を手がけるケイティケイは、サーキュラーエコノミー(循環経済)に貢献する独自の顧客参加型プログラムを展開している。QRコードを活用した「リサイクル」(履歴管理)により、顧客は廃ラスタック削減や二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出削減を数値で確認可能。使用済みカートリッジ

**リユーストナー 顧客参加の取り組み推進**

は、使用済みカートリッジの完全回収と資源の有効活用を目指す取り組み。リユーストナーカートリッジにQRコードを貼り、生産から出荷、回収までを追跡管理する。青山英生社長は「リユーストナーの循環型の実現は、使用済みカートリッジの確実な回収システムの確立が不可欠」と語る。同社が、回収率を最大の特長として環境貢献の推進に力を入れている。同社が、リユーストナーの推進に力を入れている。同社が、リユーストナーの推進に力を入れている。

### お客様

- ・環境貢献
- ・環境貢献の数値化
- ・業務効率化
- ・ポイント獲得



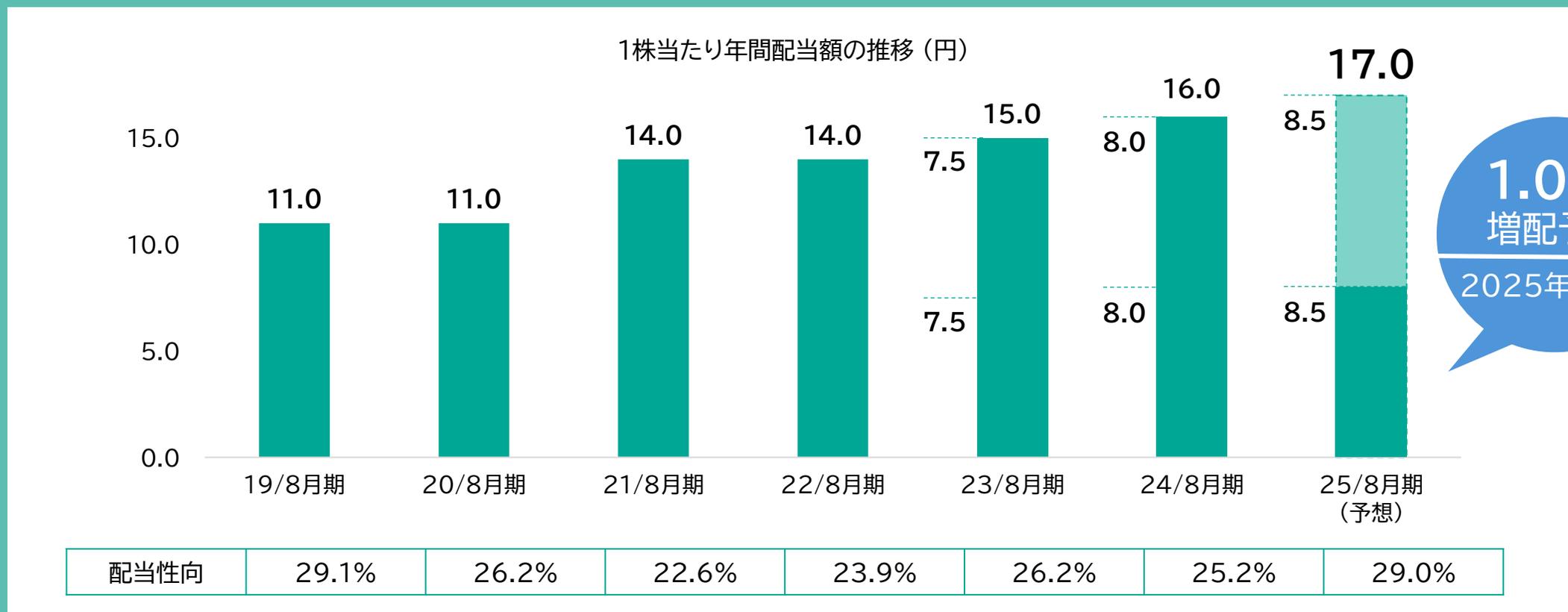
- ・廃プラスチック量削減
- ・CO2排出量削減

2025年3月11日 日刊工業新聞(7面)

この記事は日刊工業新聞社の転載許諾を受けています



- 連結配当性向30%を目途に、戦略投資とのバランスをとりつつ、安定的・継続的な株主還元を実施
- 2025年8月期は、前期より1.0円増配し、1株当たり年間配当額17.0円(連結配当性向29.0%)の予想



商号	ケイティケイ株式会社(ktk INC.)	
設立	1971年6月29日	
資本金	2億9,467万円	
代表取締役	青山 英生	
従業員数	172名	
拠点	営業拠点 18拠点 / 生産拠点 2拠点 物流拠点 2拠点	
事業内容	リユーストナー等のプリンター消耗品の製造・販売 OA機器に使用する消耗品、文具事務用品等の販売 インターネット等の通信販売を利用した商品等の販売 DX推進のITソリューション商品の販売	

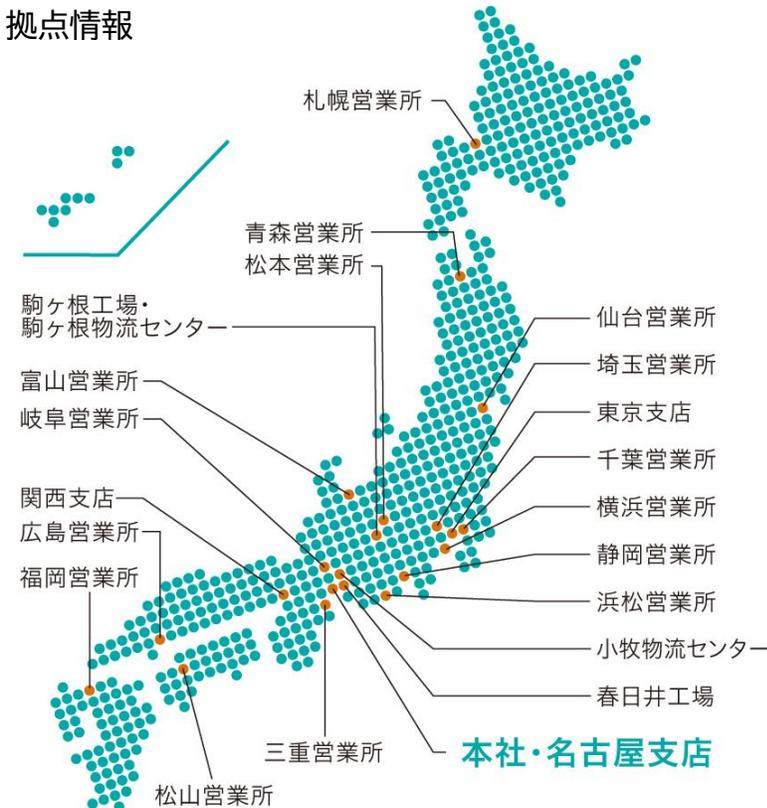
## ■ WEB発注システム

約100,000点のアイテムを取り揃えた独自のWEB発注システム **YORI DORI**  
お客様専用カスタマイズも可能

約600,000点の豊富な商品を掲載する  
ITソリューション専門のBtoB通販サイト

**YORI DORI+plus**

## ■ 拠点情報



本社外観（名古屋市東区）



## ■ 自社生産のリユース商品

主力のリユーストナーは、品質管理を徹底した長野県駒ヶ根市の自社工場で生産



## 株式会社青雲クラウン



拠 点	営業拠点 5拠点(名古屋/岐阜/津/豊橋/長野)
事 業 内 容	文具卸売/オフィス環境/店舗開発
従 業 員 数	72名

オフィス用品の総合商社として、調達から物流までのサプライチェーンを構築しオフィス環境を総合的にサポート  
店舗開発事業として文具専門店のプロデュースも実施

## 株式会社キタブツ中部



拠 点	物流拠点 1拠点(小牧)
事 業 内 容	ロジスティック事業/倉庫業
従 業 員 数	5名

物流を一元管理することで、コスト削減や効率化を実現しお客様のニーズに対応  
オフィス用品を中心に33,000アイテムを常時管理保管

## 株式会社イコリス



拠 点	営業拠点 1拠点(名古屋)
事 業 内 容	デジタルマーケティング/EC事業
従 業 員 数	4名

ネットビジネスのアルゴリズム解析のノウハウを生かしたWEB広告、デジタルマーケティング、EC運営支援、サプリメントなどを取り扱うEC事業

## SBMソリューション株式会社



拠 点	営業拠点 2拠点(名古屋/岐阜)
事 業 内 容	OA機器販売/ITソリューション
従 業 員 数	32名

最適なドキュメントソリューションの提案をはじめ、PCやセキュリティ機器等の情報通信システム・ネットワークの構築、運用、保守サポートを提供

## 株式会社エス・アンド・エス



拠 点	営業拠点 1拠点(瀬戸)
事 業 内 容	OA機器販売/ITソリューション
従 業 員 数	4名

愛知県瀬戸市を中心に、複合機をはじめとしたドキュメントソリューション、PCやセキュリティ機器など、オフィスに必要なIT機器を提供

## 東海桜井株式会社



拠 点	営業拠点 1拠点(名古屋)
事 業 内 容	CAD・図面関連/ITソリューション
従 業 員 数	8名

図面用消耗品販売、図面用製本の作成、図面・書類のスキャン・電子化、CAD・プロッター等の機器・システムの販売、複合機等 OA 機器のレンタルなどを展開

ケイティケイグループ

サプライ事業

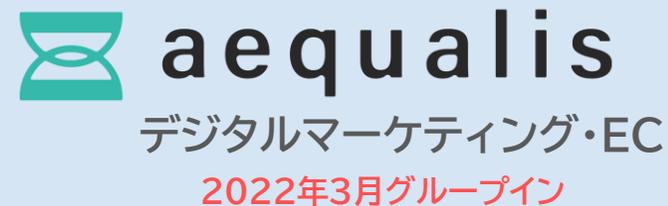
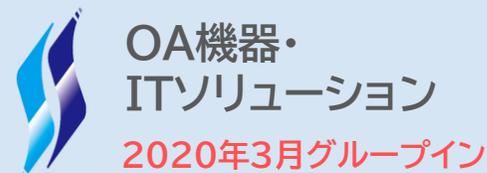


ktk

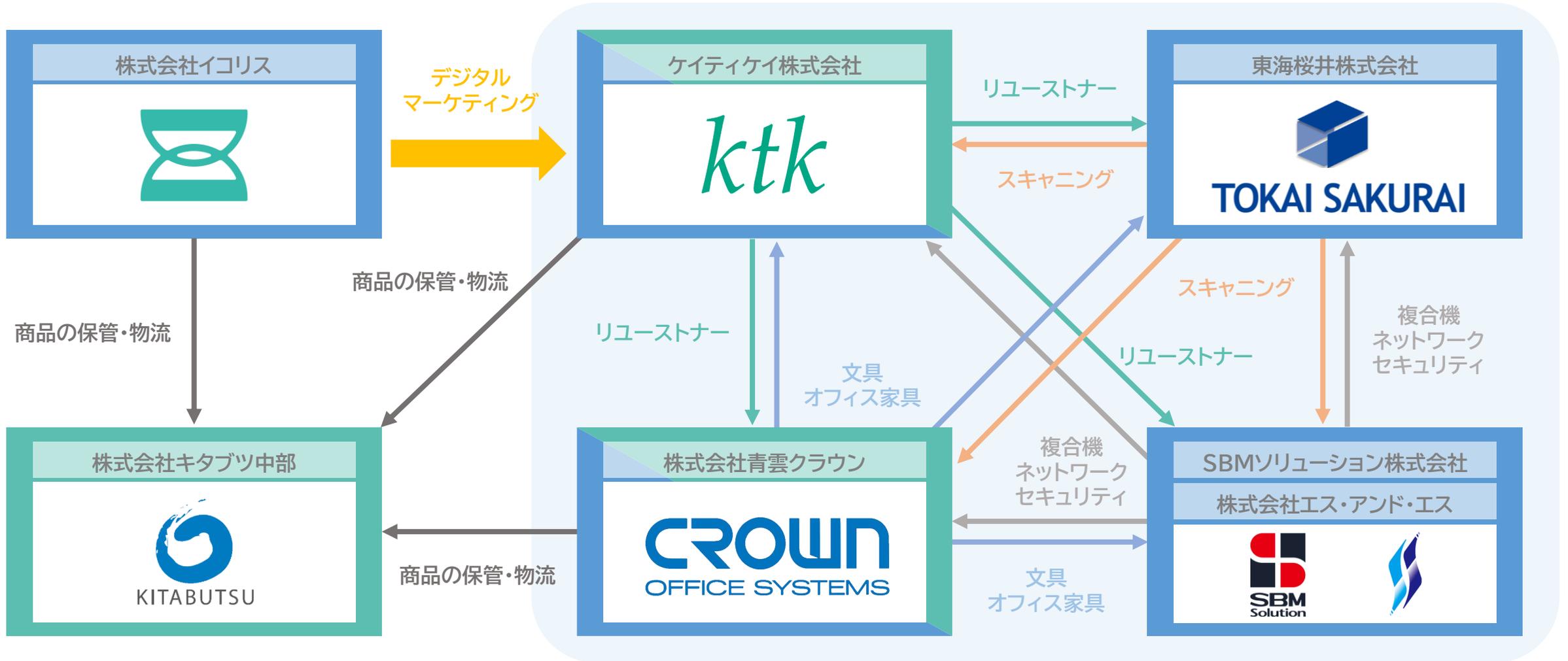
リユースター

CROWN  
OFFICE SYSTEMS

文具・オフィス家具



ITソリューション事業



顧客基盤 15,000社

## 経営理念

“お客様の発展をトータルでサポートし、  
お客様にお喜びいただき、  
社会に貢献する”

## サステナビリティ基本方針

“事業活動と経営戦略の中心に  
SDGsの理念を据え、  
持続可能な社会の実現に  
貢献する”

Change  
the office  
mirai

## 長期ビジョン

# Change the office mirai



### 社会を変える

リユースリサイクルが当たり前のミライを目指し、  
SDGs・循環型社会に貢献します



### お客様のオフィスを変える

お客様にDXソリューションを提供し、中長期的な信頼  
関係を築きながら、お客様のミライを変えていきます



### 自分たちが変わる

社員が価値を発揮できるよう、人材投資を継続的に行い、  
自分たちのミライを変えていきます



## EARTH NOTE(アースノート)とは

「SDGsの取り組みを共有し、循環させる」がコンセプトのWEBメディア

目標達成のアイデアや手法をWEB上で共有して全国に広めることで、SDGs達成に向けた取り組みのさらなる活性化を図ります

ケイティケイの  
SDGsへの取り組み▶



EARTH NOTE

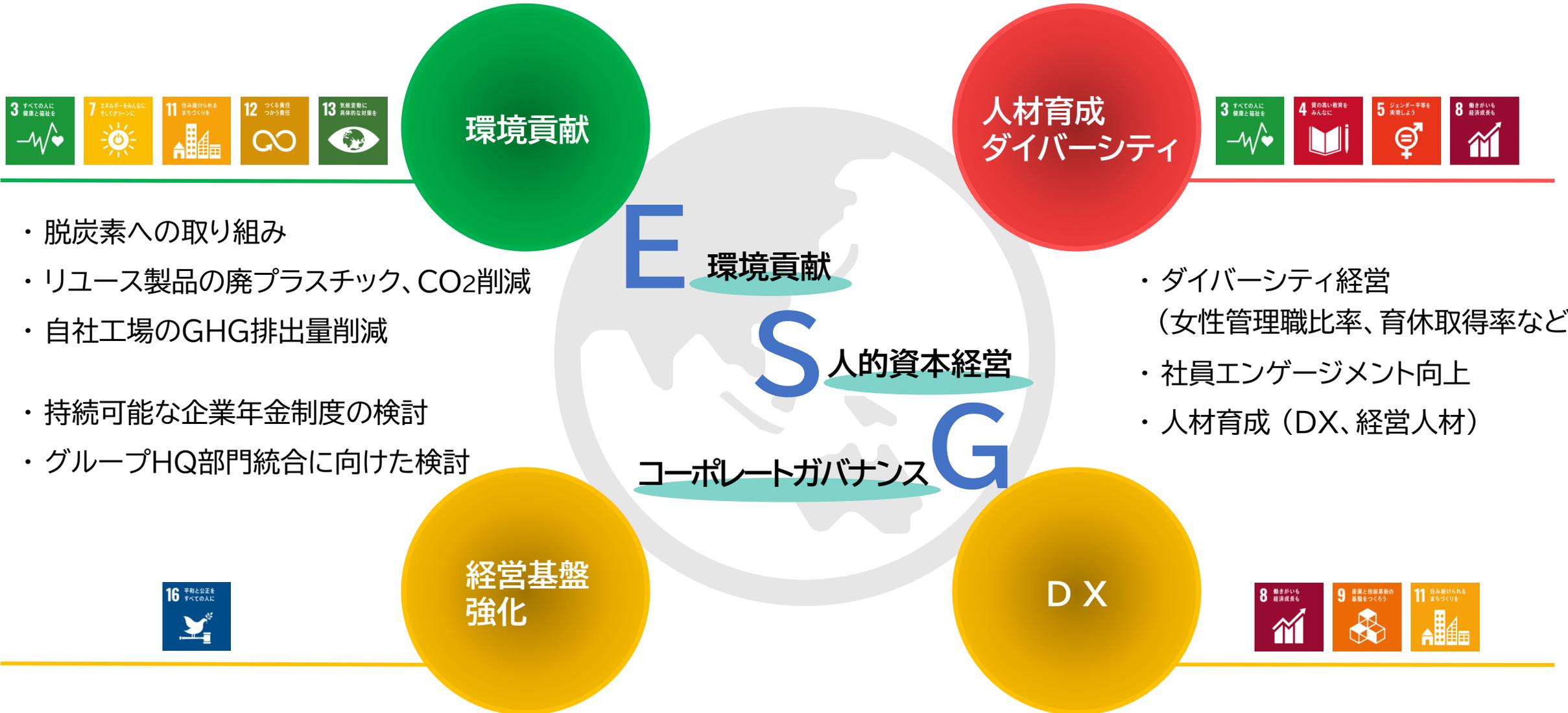
<https://www.yoridori.jp/earth-note/>



企業・自治体のインタビュー記事や、  
様々なお役立ち情報を発信



59の企業・団体様にご賛同いただき、取材記事を掲載中  
(2024年8月現在)



3 すべての人に健康と福祉を  
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  
11 住み続けられるまちづくりを  
12 つくる責任 つかう責任  
13 気候変動に具体的な対策を

**環境貢献**

- ・ 脱炭素への取り組み
- ・ リユース製品の廃プラスチック、CO2削減
- ・ 自社工場のGHG排出量削減
- ・ 持続可能な企業年金制度の検討
- ・ グループHQ部門統合に向けた検討

16 平和と公正をすべての人に

**経営基盤強化**

**人材育成  
ダイバーシティ**

3 すべての人に健康と福祉を  
4 質の高い教育をみんなに  
5 ジェンダー平等を突進しよう  
8 働きがいも経済成長も

- ・ ダイバーシティ経営  
(女性管理職比率、育休取得率など)
- ・ 社員エンゲージメント向上
- ・ 人材育成 (DX、経営人材)

**DX**

8 働きがいも経済成長も  
9 産業と技術革新の基盤をつくろう  
11 住み続けられるまちづくりを

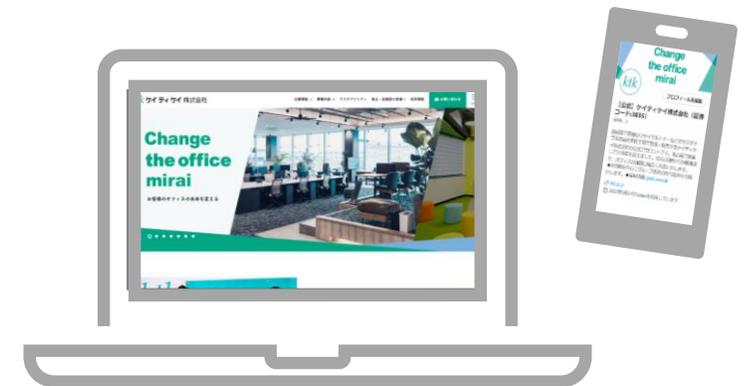
ケイティケイのサステナビリティ重要課題(マテリアリティ)

## 本資料に関するご注意

本資料には、ケイティケイ株式会社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づく見込みです。また、多様なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限られません）を含んでいます。そのため、当社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なる可能性があります。この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

## 本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

お問い合わせ先	ケイティケイ株式会社 IR担当
所在地	愛知県名古屋市東区泉2-3-3
電話	052-934-2260
メールアドレス	ir@ktk.gr.jp
HP	<a href="https://www.ktk.gr.jp/">https://www.ktk.gr.jp/</a>
X(旧:Twitter)	@ktk_ir





見やすく読み間違いにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を使用しています